



このたびの市長選挙において、都城市長として再び市政を担わせていただくことになりました。これまでの4年間の取り組みの成果に対する評価の結果、多くの市民の皆さまに信任していただき、大変感激していると同時に、今後の4年間への大きな期待を感じ、あらためて身の引き締まる思いです。無駄なものを削るだけでなく、必要などころには積極投資しながら、先頭に立って改革と活性化に取り組んでいきたいと思えます。

南九州の リーディングシティとして

市民の願いがかなう南九州のリーディングシティとして、定住自立圏構想や環霧島会議など、周辺の自治体との連携を強化し、持続的発展ができる財政基盤を確立し、自立可能なまちの実現を目指していきます。都城市は南九州の人・物・金の流れの中心となる可能性を秘めたまちです。その利点を活用し求心力を高め、南九州をリードするようなまちづくりを進めていきます。

就任のあいさつ 長峯 誠



サブシティ構想

都城市の地理的中心である都城インターチェンジの高いポテンシャルを生かし、健康医療ゾーンと雇用創出ゾーンを整備し、本市活性化の「核」をつくりまします。

このうち、雇用創出ゾーンについては、既存の工業団地への企業立地を推進しながら、新しい工業団地の造成を進めていきます。

また、健康医療ゾーンについては、救急医療施設などを平成27年までに開設することを目標して整備を推進していきますが、まずは今夏までに基本計画を公表し、その後約1年をかけて設計などを行って着工し、早期完成を目標したいと考えています。



合併後のまちづくり

合併して4年が過ぎましたが、市民の皆さまのさまざまな声に謙虚に耳を傾け、これまで以上に丁寧な説明を続けていきたいと考えています。また、旧4町に限らず中山間地などには効果的な施策を通じて、地域振興を図ってまいります。

マニフェストの実行

都城市が南九州のリーディングシティとして、今後も輝き続けていくためにマニフェストを着実に実行してまいります。

サブシティ構想については、なるべく前倒しして、早期に実現できるように促進していききたいと考えています。

行財政改革については、民間の経営感覚で無駄を徹底して排除し、職員削減や施設の民営化、民間委託などにより行政コストを削減し、持続的発展が可能な健全な財政基盤を確立していくとともに、市民負担を軽減したいと考えています。

市民生活に真に必要な事業を除いて投資は抑制していきませんが、一方で、必要な事業については選択と集中を原則として積極的に投資を行い活性化に取り組んでいきたいと思えます。

景気雇用対策については、世界同時不況の中で本市としてできる限りの景気雇用対策を推進し、市民生活を守っていききたいと考えています。

地場産業支援については、バランスの取れた産業構造の強みを生かして、地域の産業を活性化し経済に活力を生み出します。

教育・子育て支援については、子ども

への投資は未来への投資と考

えていますので、子

育てのしやす

い環境をバックアップします。

安心・安全を守るために、自助・共助・公助をリンクさせ、災害に強いまちづくりを進めます。

住民に最も近いところでまちづくりの意思を決定するため、まちづくり協議会を設立し、市民との協働を進めていきます。

最後に、市民の皆さまが誇りを持って愛する都城市で暮らし続け、これからの厳しい時代を共に乗り越えていくために、これからもご協力いただきますようお願い申し上げます。市長就任のあいさつとさせていただきます。

市長プロフィール

昭和44年8月2日生(40歳)

平成6年3月

早稲田大学政治経済学部卒業

平成7年7月

参議院議員秘書

平成9年1月

(社)日本青年会議所

宮崎ブロック協議会事務局長

平成9年6月

県議会議員補欠選挙で初当選

平成11年4月

県議会議員 再選

平成15年4月

県議会議員 3選

平成16年12月

第27代都城市長就任

平成18年2月

初代都城市長就任

平成22年1月

都城市長再選

○趣味 読書・音楽鑑賞

○座右の銘 修己治人

○家族構成 妻と長男、次男の4人暮らし

都城市議会議員決まる

34人の顔触れ

任期満了に伴う市長と市議会議員選挙が1月24日に行われ、今後4年間の市政運営を決定していく市長と議員の顔触れがそろいました。そのうち、市全域を一選挙区とし、議員定数も8削減された市議会議員選挙には47人が立候補。市民の負託を受けた議員34人が決まりました。また、2月9日の臨時会で議長に東口良仲さん、副議長に永山透さんが選ばれました。



三角光洋(61)
梅北町



永山 透(63)
南横市町



来住一人(64)
乙房町



徳留八郎(69)
八幡町



佐藤紀子(53)
金田町



榎木智幸(53)
山之口町



杉村義秀(60)
上長飯町



神脇清照(62)
郡元四丁目



荒神 稔(55)
山田町



永田照明(60)
高城町



中田 悟(48)
太郎坊町



永田浩一(65)
高崎町



江内谷満義(61)
高城町



森重政名(56)
鷹尾一丁目



大浦 覚(53)
上川東四丁目



長友潤治(49)
上水流町



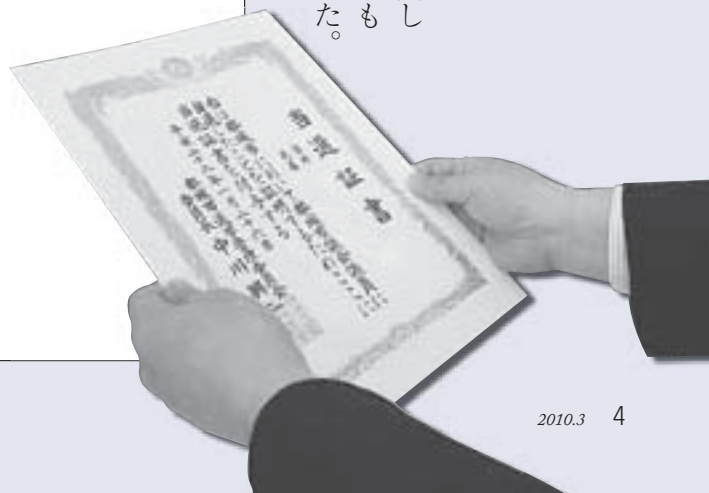
音堅良一(50)
下長飯町



下山隆史(57)
上長飯町



東口良仲(63)
梅北町





第3代都城 市議会議長 東口良仲

●旧市の市議会議員を3期、新市になって2期、通算5期目。旧市の副議長や建設委員会委員長などを歴任

議長に就任し、議会代表者としての重責を担い、身の引き締まる思いです。今回から議員定数が34人になり、新たに出発した市議会は、本市の重要な事項を決める責任を負うとともに、議員自らが行政に提言するなど、市民の負託に応えられるよう努力していきます。

議長あいさつ

また、南九州の中心都市として礎を築いた先人たちに感謝するとともに、地域資源を生かし英知を結集しながら、個性と魅力にあふれたまちづくりに取り組みます。
新生「都城市」の躍進のため、市民の皆さまの声を市議会へ届けてくださるようお願いいたします。



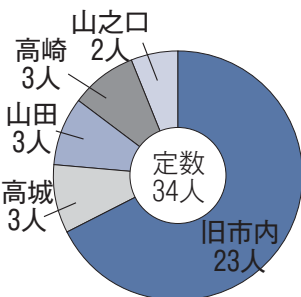
第5代都城 市議会副議長 永山透

●旧市の市議会議員を2期、新市になって2期、通算4期目。旧市の建設委員会委員長などを歴任

前回は4.88%下回る投票率

今回の市議会議員選挙の投票率は65.56%と、前回は4.88%下回る結果となりました。

また、議員定数34のうち、旧市内から23人が、総合支所管内から11人が当選しました。



蔵屋 保(61)
祝吉町



迫間輝昭(62)
高崎町



榆田 勉(59)
吉尾町



西川洋史(62)
姫城町



黒木優一(50)
庄内町



本仮屋 勉(60)
南横市町



相葉一夫(62)
下長飯町



小玉忠宏(60)
上東町



福留 明(56)
高城町



坂元良之(64)
鷹尾一丁目



児玉優一(52)
平塚町



有田辰二(58)
山田町



坂下邦男(63)
山之口町



筒井紀夫(60)
山田町



西ノ村 清(55)
高崎町

敬称略 得票順に掲載 氏名、年齢(3月1日現在)、住所を表記